

取扱説明書

ニラ出荷調製機

NT-650



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをする
と、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

平成13年9月1日作成

ニラ出荷調製機NT-650を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はニラ調製機NT-650の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用下さい。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存して下さい。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
-  印付の下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守り下さい。

警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読み下さい。

目次

1. 安全に作業をするために	1 ～ 4
2. 安全銘板の貼り付け位置	5
3. 本製品の使用目的について	5
4. 各部の名称	6
5. 仕 様	6
6. 据付要領	7
7. 操作スイッチ	8 ～ 1 0
8. 各部の調節	1 1 ～ 1 3
9. 運 転	1 4
1 0. 異常の場合の処置の仕方	1 4 ～ 1 5
1 1. 注意事項	1 6
1 2. 本機が動かない時	1 6
1 3. 自動運転フローチャート	1 7 ～ 1 8
1 4. 異常処置	1 9 ～ 2 0
1 5. 電気配線図	2 1
1 6. エアー配管図	2 2
1 7. 結束テープ貼付不具合時に確認して下さい	2 3 ～ 2 4
1 8. チェックスポンジ及びマスキスポンジの貼付要領	2 5 ～ 2 7
1 9. 付属品一覧	2 8

1.安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

▲ 警告

子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告

電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや
接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



▲ 警告

2人以上で作業するときは、 お互いに合図しながら機械を始動する

【守らないと】

思わぬ事故になることがあります。



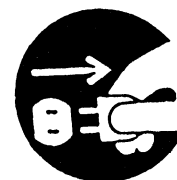
▲ 警告

点検・整備時には必ず電源を「OFF」 にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜いて
から行ってください。

【守らないと】

思わぬ事故をおこします。



▲ 注意**使用前に取扱説明書を必ず読む**

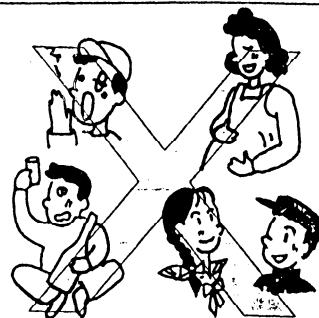
使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

【守らないと】

傷害事故や機械の破損をひきおこします。

**▲ 注意****こんなときは作業しない**

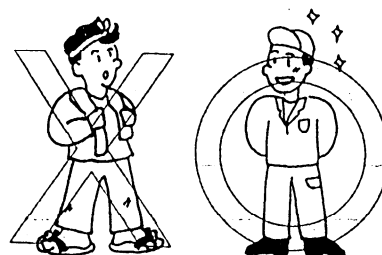
- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。

**▲ 注意****作業に適した服装をする**

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。

**▲ 注意****点検・整備をおこなう**

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

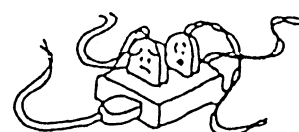
事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。

**▲ 注意****電源は交流100V専用コンセントに接続する**

また、タコ足配線はおやめください。

【守らないと】

火災事故の原因となります。

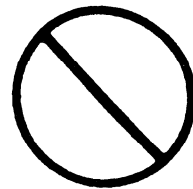


▲ 注意

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチをきる

【守らないと】

通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。

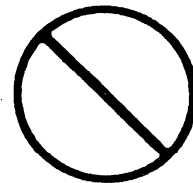


▲ 注意

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】

ショートして、火災の原因になることがあります。



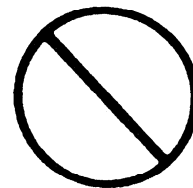
▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 注意

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する。

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。



▲ 注意

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。
改造をしないでください。

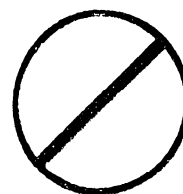
【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



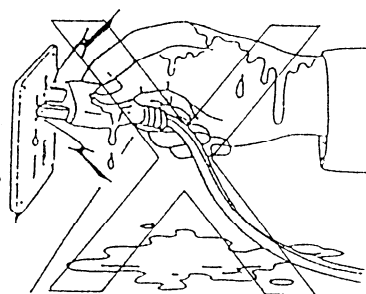
▲ 注意 水洗い厳禁

本機には、絶対に水をかけないで下さい。
感電や漏電火災の原因となり大変危険です。



▲ 注意 ぬれた手では触らない

ぬれた手で電源プラグ・スイッチ等には、絶対に
触れないで下さい。感電の恐れがあり大変危険です。

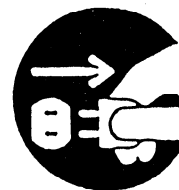


▲ 注意 後始末を忘れずに

長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから
抜いてください。

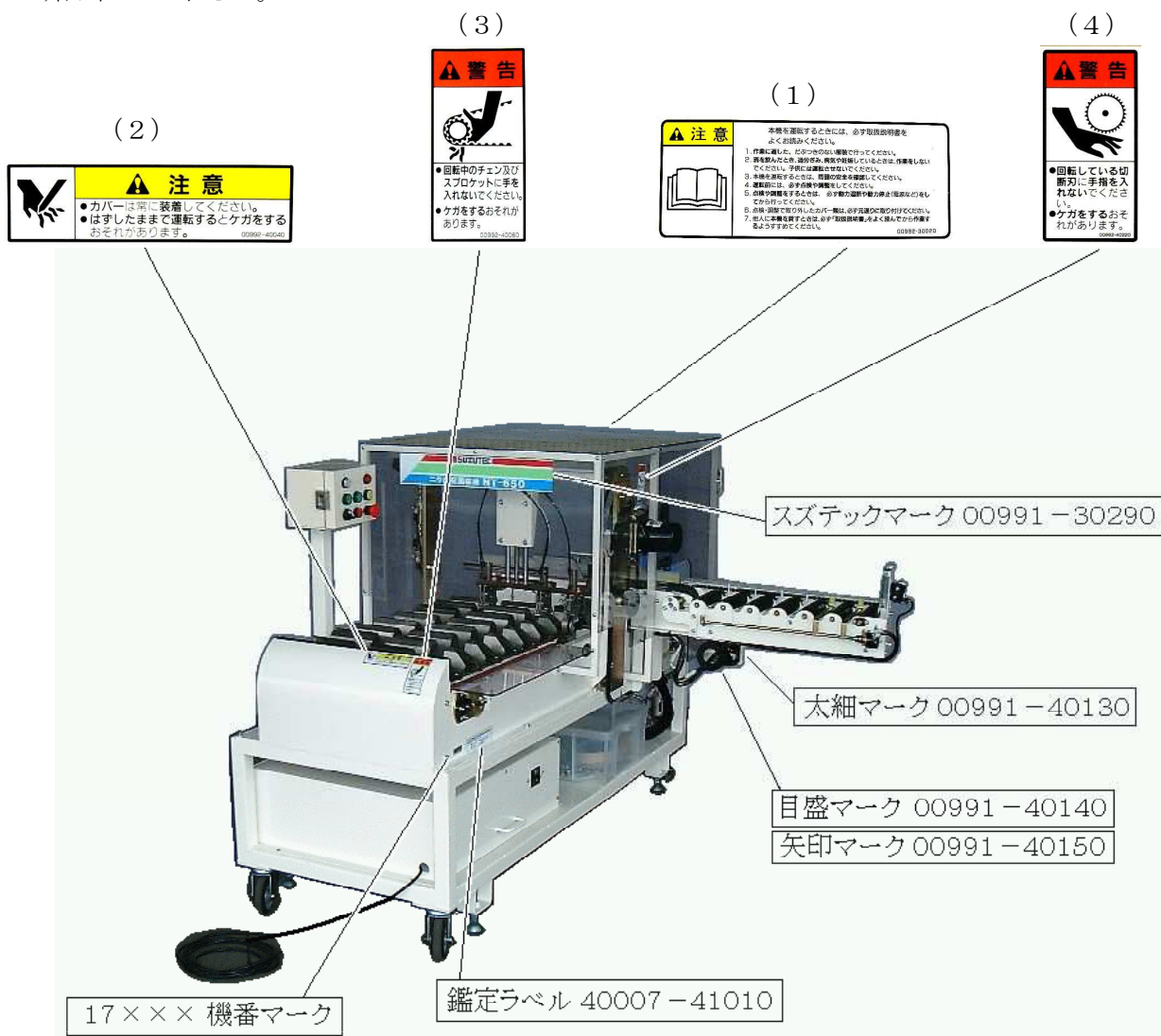
【守らないと】

火災事故や感電事故のおそれがあります。



2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直して下さい。



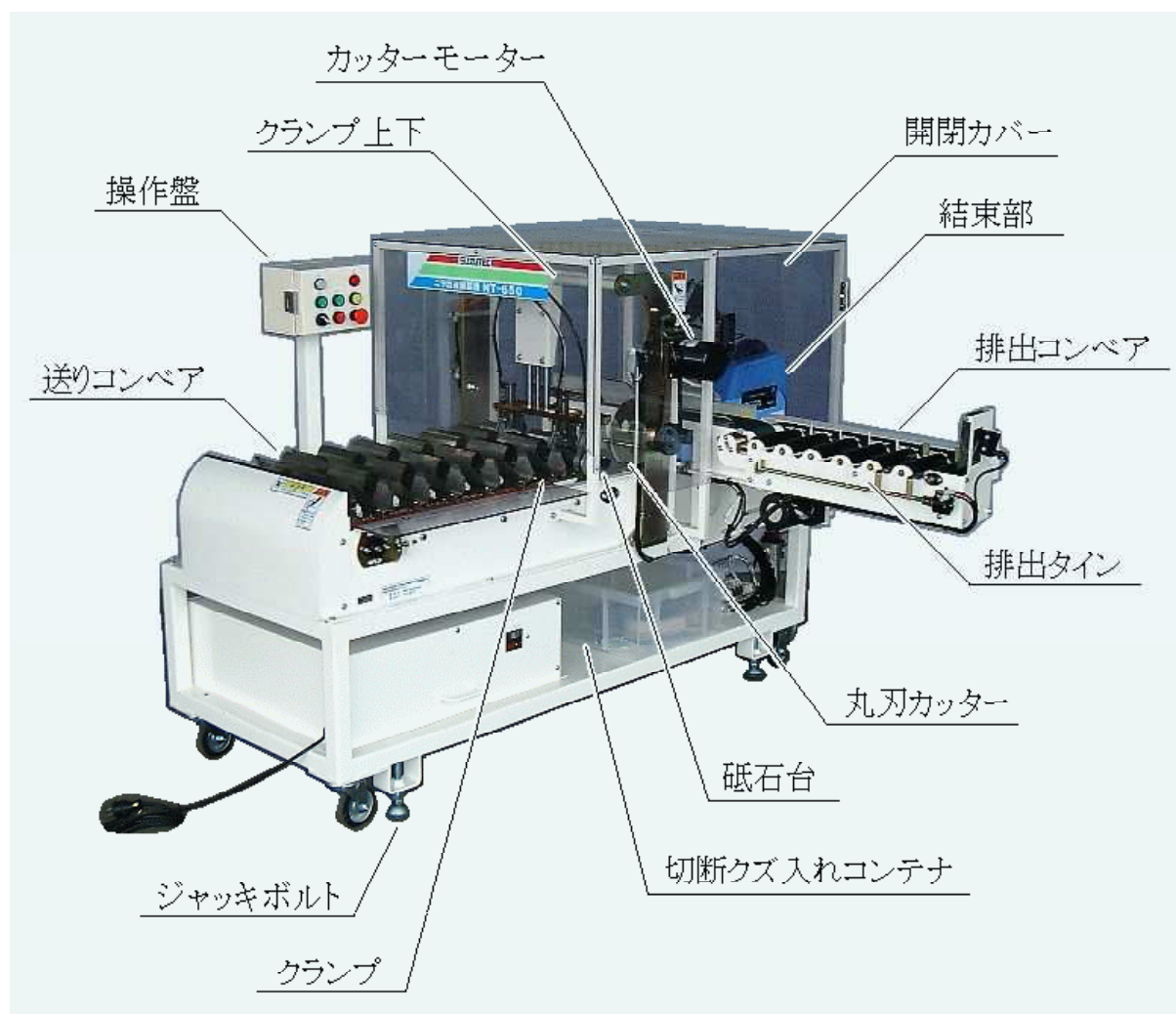
紛失又は破損された場合には、当社に下記の表を参考にご注文ください。

No	部 品 番 号	部 品 名 称
(1)	0 0 9 9 2 - 3 0 0 2 0	注意ラベル CL-16
(2)	0 0 9 9 2 - 4 0 0 4 0	注意ラベル CL-3
(3)	0 0 9 9 2 - 4 0 0 6 0	警告ラベル WL-2
(4)	0 0 9 9 2 - 4 0 2 2 0	警告ラベル WL-10

3. 本製品の使用目的について

本製品は、ニラの出荷調製機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



5. 仕様

型	式	NT-650		
機体寸法	全 長	1,600 mm		
	全 幅	1,460 mm		
	全 高	1,180 mm		
重	量	250 kg		
モーター	送りコンベア	40W	AC100V	減速比 1/120
	排出コンベア	40W	AC100V	減速比 1/15
	切断カッター	40W	AC100V	
制御用使用空圧		0.5 MPa (5 kgf/Cm ²)		
ニラ投入可能長さ		300 ~ 500 mm		
能力		最大650束/時間		
必要コンプレッサー		1.5 kW		

6. 据付要領

- (1) 作業場はできるだけ水平なところに設置して下さい。
- (2) 設置場所が決まったら、本機を手で押して移動し、所定の位置で水準器などで水平を確認しながら、本機下の4本のジャッキボルトで本機を上げ、ロックナットでしっかり固定して下さい。

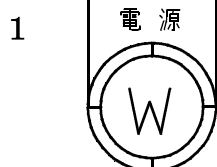
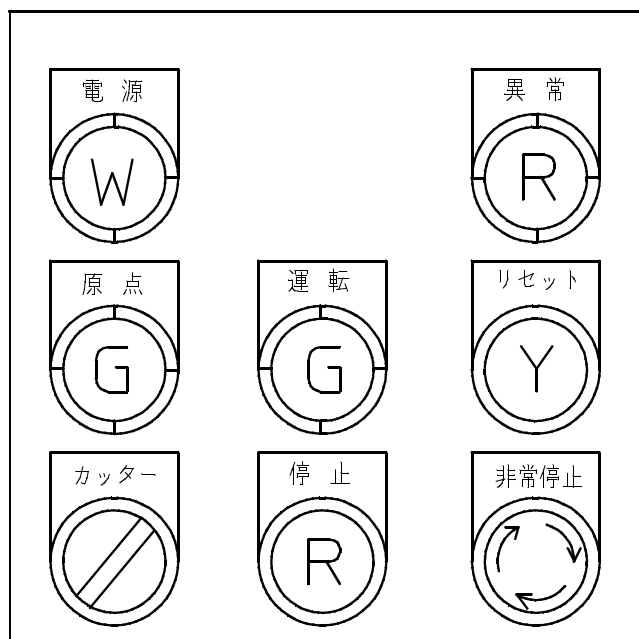


- (3) 「切断クズ入れコンテナ」を本機の丸刃カッターの下側に差し込んで下さい。



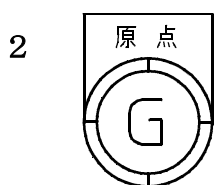
- (4) エアホースは内径6.5mm、外径10mmの物を準備して下さい。
尚、本機側のカプラは40型(1/2)メスを準備し、エア配管プラグに接続して下さい。
- (5) 電源コードを家庭用100Vコンセントに差し込んで下さい。(13A以上)
- (6) 100gが、計量できる台秤を準備して、台秤置き台等において下さい。
- (7) 結束テープ等の入れ方については同梱の結束機「たばねら5000V」の取扱説明書をお読みください。

7. 操作スイッチ



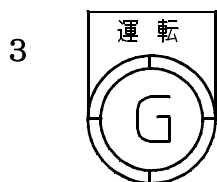
電源ランプ

- ・家庭用AC100Vに本機の電源コードプラグを差し込みONにし通電するとランプ（白）が点灯します。



原点ランプ・押ボタンスイッチ

- ・ランプ（緑）点灯時自動運転スタート状態になります。
- ・ランプ点滅の時は原点押しボタンスイッチを押して下さい。
（P20 原点条件参照）

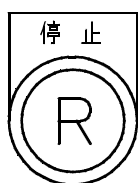


運転ランプ・押ボタンスイッチ（下図）

- ・原点ランプ点灯時自動運転スタート状態です。
作業開始時は押しボタンスイッチを押して下さい。
- ・自動運転中はランプが点灯（緑）します。



4

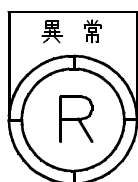


自動運転停止押ボタンスイッチ（下図）

運転中押すと1サイクル作動後、停止します。



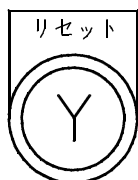
5



異常ランプ

- ・異常時にランプが点灯、点滅（赤）します。
- ・非常停止ボタンが押された時、ランプが点灯（赤）します。
- ・安全カバーを開くと、ランプが点灯（赤）します。
- ・搬送、排出、カッターモーター用サーマルリレー（P 19 参照）がトリップした時ランプが点灯（赤）
- ・結束機のテープがなくなると、ランプが点滅（赤）します。

6

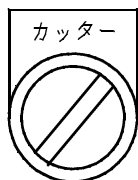


リセット押ボタンスイッチ（下図）

異常時、異常ランプが点灯、点滅（赤）した時、異常解除後リセット押ボタンスイッチを押してして下さい。



7



丸刃カッター研磨用セレクトスイッチ（下図）

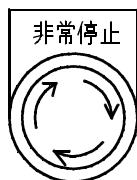
- ・自動運転停止後、丸刃カッターを回転して下さい。
- ・丸刃カッターが切れなくなったら、自動運転を停止してカッタースイッチをONにして、丸刃カッターを回転し、付属の砥石で研磨して下さい。



注意

丸刃カッターは回転している時でも、停止している時でも、素手で触らないで下さい。手指にケガをするおそれがあります。

8



非常停止押ボタン

- ・この押ボタンスイッチを押すと非常停止します。
- ・異常部を取り除いた後は右に回してロックを解除して下さい。



9 原点位置起動スイッチ

送りコンベアが原点位置に止まらなかった時に使用

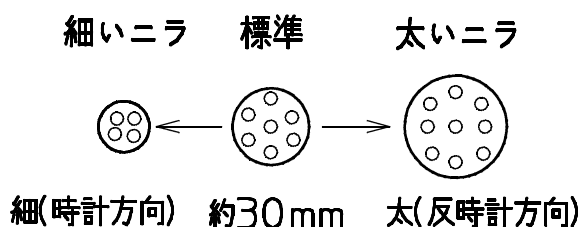
リセットボタン（黄）と停止ボタン（赤）を同時に押すと送りコンベアのみが起動し原点位置に戻る。

8. 各部の調節

（1）結束部の前後調節（P 24 も参照）

本機の出荷時は、テープ結束後のニラの直径が、約 30 mm になるように組付けられています。これより細かい場合（夏ニラなどの長いニラ）や、太い場合（冬ニラなど）は結束部を図のハンドルを回して調節して下さい。ハンドルを細方向（時計方向）へ回せば結束部が細いニラに対応し、太方向（反時計方向）に回せば結束部が太いニラに対応します。

尚、ハンドルを一回転回すと約 2 mm 結束部が前後します。



(2) 排出タインの速度調節

本機の出荷時は標準的な速さにセットされています。それより払い出しを早くしたい場合や、遅くしたい場合は下図のようにエアバルブを調節して排出タイン速度を調節して下さい。(赤テープが巻いてある方のエアバルブ)



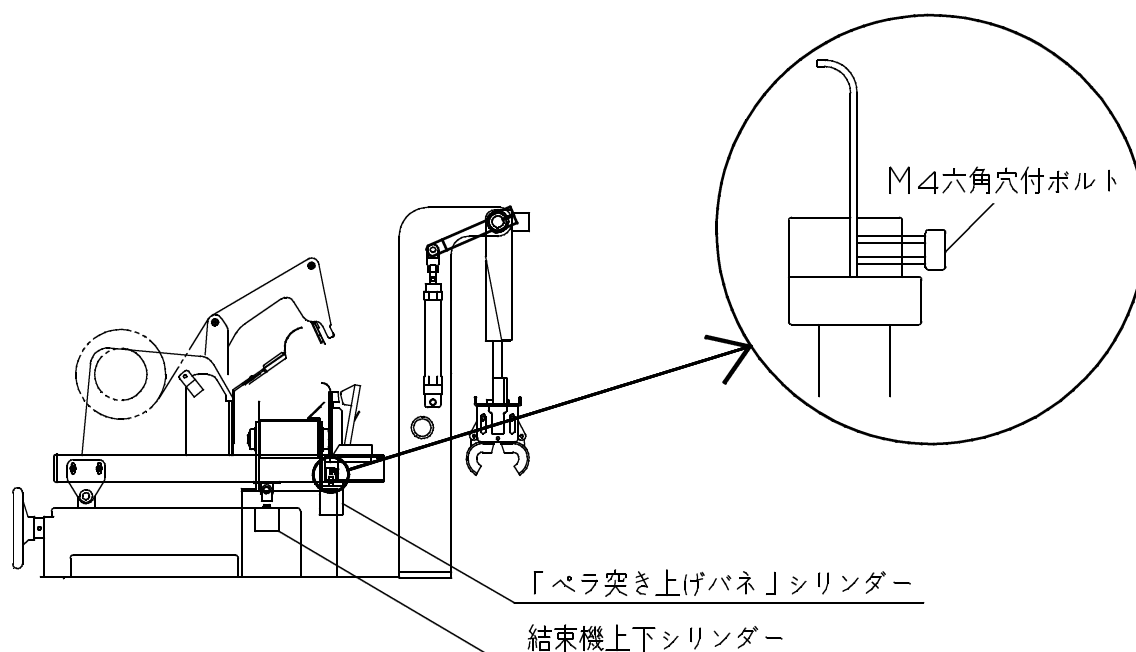
(3) ペラの貼り付け調整

結束テープのペラ（貼り残し部）の貼り付け調整は、下図のように、ビスをゆるめて長穴で前後に出し入れして調整し、「ペラ突き上げバネ」の先端1～2mmの位置に固定して下さい。



(4) ペラ突き上げバネの交換

「ペラ突き上げバネ」がへたるなどして使用不能になった場合は下図を参考にして交換して下さい。(尚、T型六角レンチ 3 mmは同梱してあるものを使用して下さい。)

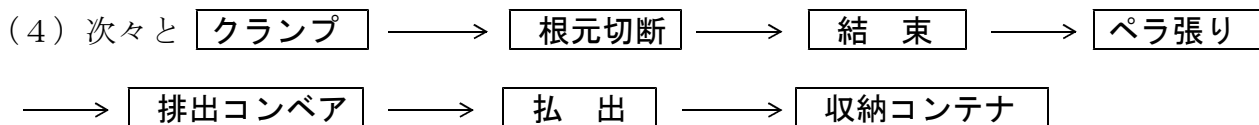


交換要領

1. 安全のため電源OFFをにし、エアーも抜いて、結束テープは外しておいて下さい。
2. 危険ですから丸刃カッターを外して（外し方はP 2 5 参照）「ペラ突き上げバネ」を交換して下さい。
3. T型六角レンチ 3 mmでボルト 2ヶ所を左に回してゆるめて下さい。
4. 「ペラ突き上げバネ」を上引き抜いて下さい。
5. 交換する「ペラ突き上げバネ」を上から固定溝の元まで差し込んで下さい。
6. T型六角レンチでボルト 2ヶ所を右に回して固く締めて付けて下さい。
7. 丸刃カッターを元通りに取り付け、（取付け方はP 2 7 参照）結束テープも取り付けて下さい。
8. 電源およびエアーをONにして運転を再開します。

9. 運 転

- (1) 結束テープを取付けて下さい。(取付け方は「たばねら 5 0 0 0 V」の取扱説明書参照) 本機に使用する結束テープはニチバン製をおすすめします。
- (2) 運転押ボタンスイッチを押して下さい。
(P 8 運転ランプ・押ボタンスイッチの項参照)
- (3) 別の台秤で計ったニラ 1 0 5 ～ 1 1 0 g を送りコンベアに載せて下さい。
作業はこの繰り返しになります。
尚、ニラをバケットに載せる時はニラ整列板の端面 (コンベア側) に根元を合せて載せて下さい。



と自動で処理されます。

- (5) 「収納コンテナ」が満杯になったら、随時交換して下さい。
- (6) 「切断クズコンテナ」が満杯になったら、切断クズを捨てて下さい。

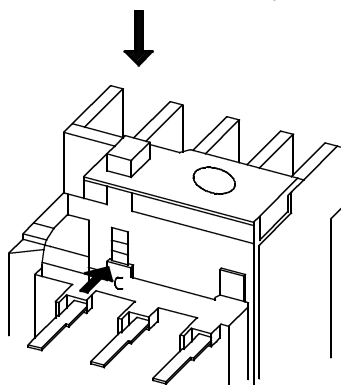
10. 異常の場合の処置の仕方

作業中、異常ランプが点灯、点滅した時は、次の要領で処置して下さい。

- (1) 非常停止押ボタンスイッチが押された時、異常ランプ (赤) 点灯
非常停止押ボタンスイッチを右に回してロックを解除した後、
リセット押ボタンスイッチを押して下さい。
- (2) 安全カバーが開いている時、異常ランプ (赤) が点灯
安全カバーを閉めリセット押ボタンスイッチを押して下さい。

(3) 送りコンベア、排出コンベア、カッターモーターが過負荷で制御板内のサーマルリレー（P 1 9 参照）がトリップした時、異常ランプ（赤）が点灯

(1) 異物がはさまっていないか確認後、制御盤を開けサーマルリレーのリセットボタン（白）（下図）を押して下さい。



(2) リセット押ボタンスイッチを押して下さい。

(4) 結束部にテープが無くなった時、又はテープが外れた時、異常ランプ点滅（赤）

(1) 結束部に結束テープを取付けた後、リセット押ボタンスイッチを押して下さい。

・結束テープの取付け方は、同梱の結束機「たばねら 5 0 0 0 V」の取扱説明書を参照して下さい。

(5) テープ確認センサーが不具合又は破損した時、異常ランプ点滅（赤）

(1) テープ確認センサーを調整、又は交換して下さい。

11 注 意 事 項

(1) 丸刃カッターが切れなくなった時は、付属の砥石で研磨して下さい。

（P 1 0－丸刃カッター研磨用セレクトスイッチの項参照）



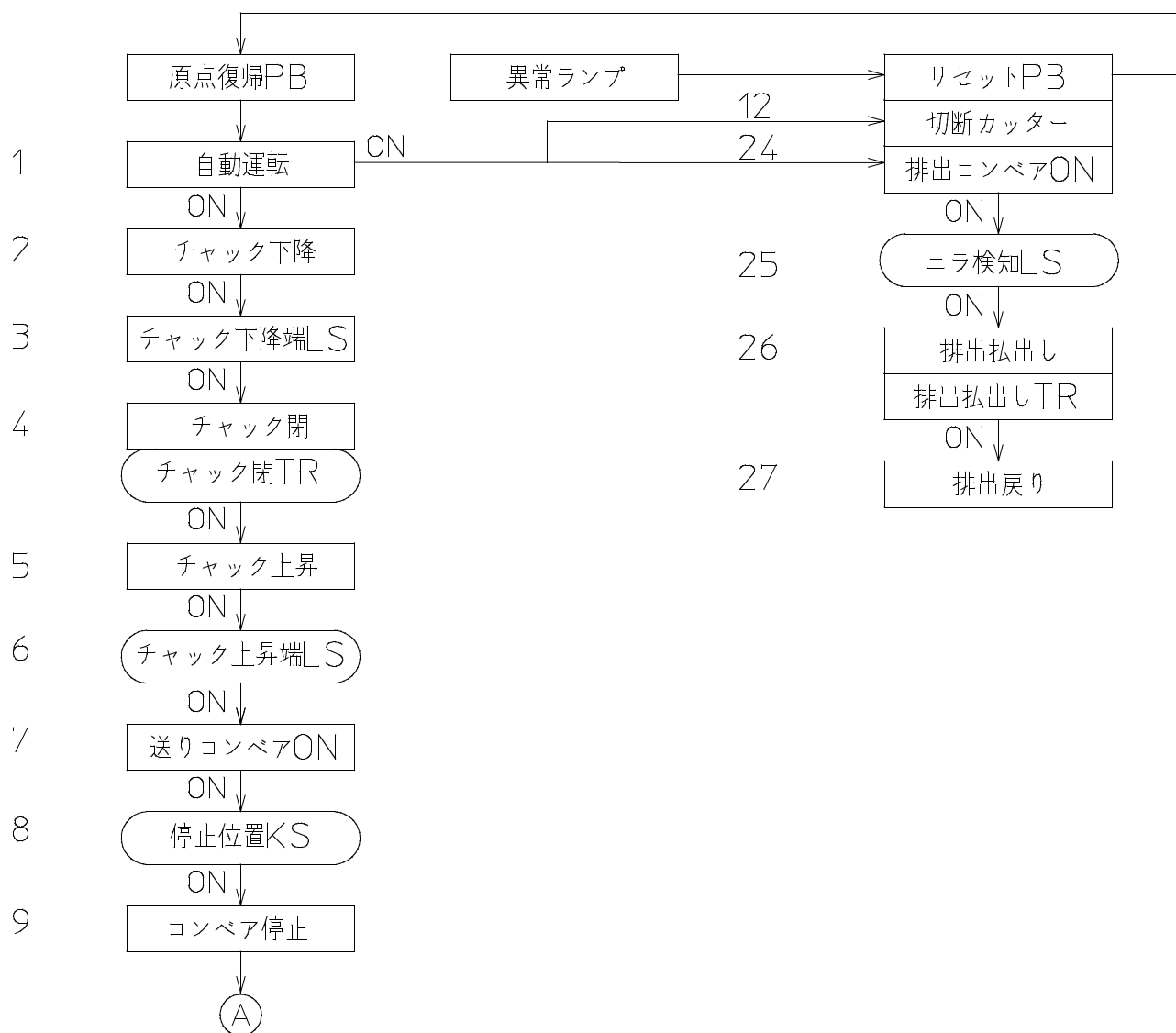
丸刃カッターを外した場合、又は新規に取付ける場合は、丸刃カッターは片刃になっていますので、刃の傾斜面を外側（砥石で研ぐ側）にして取付けて下さい。

- (2) エアフィルターにたまった水は適宜除去して下さい。エアフィルター下部の
橙色のボタンを押すと水が飛び出します。
- (3) 安全カバーは必ず取付け、又は閉めて作業して下さい。
- (4) 作業終了後や使用しない時は、必ず電源コンセントを抜きエアホースのカプラを
外しておいて下さい。
- (5) 水洗いは絶対にしないで下さい。

12 本機が動かない時

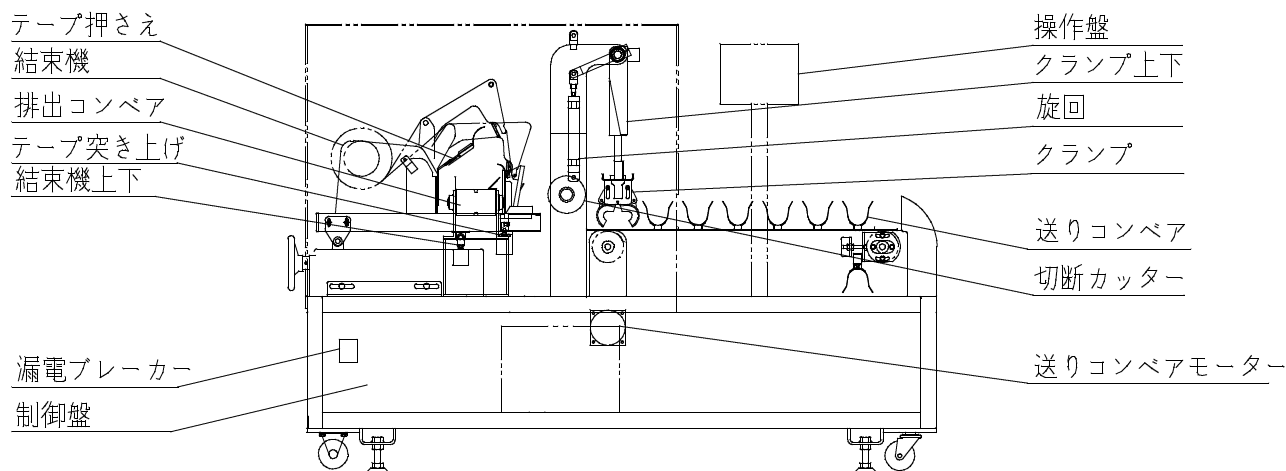
- (1) 電源がコンセントまで供給されていますか。 配電盤などを確認。
- (2) コンセントは入っていますか。 コンセントを入れる。
- (3) ブレーカーは「ON」していますか。 . . 一度下へ下げてから上へ上げます。
- (4) エアーは供給されていますか。 コンプレッサーなどを確認。
- (5) エアーの圧力は低くありませんか。 . . 本体のレギュレータを確認。(P 6 参照)
- (6) 障害物が挟まっていませんか。 電源・エアーを切って取り除く。
- (7) 電源・エアーチューブ等が破損していませんか。 交換する。
- (8) コネクターは外れていませんか。 しっかり差し直す。
- (9) 非常停止押ボタンスイッチはロックされていませんか。
. 安全を確認し右へ回し解除する。
- (10) 制御盤内のサーマルリレーのリセットボタン (白) はトリップしていませんか。
. リセットボタン (白) を押して下さい。
(P 15 異常の場合の処置の仕方の項参照)
- (11) 何らかの原因で本機が停止した場合、一旦電源コンセントを引抜きエアーも
OFFにし、10秒以上経過した後に再度電源コンセントを入れ、エアーをON
にすると回復する場合があります。

13. 自動運転フローチャート





14. 異常処置



自動運転中フローチャート停止した時

停止NO	モーター回転異常	配線チェック	サーマルリレー	処 置 内 容
2. 4	送りコンベア	○	○	モーター配線切断かサーマルリレーを確認
2 3	排出コンベア	○	○	モーター配線切断かサーマルリレーを確認
1 2	切断カッター	○	○	モーター配線切断かサーマルリレーを確認
1 5	結束機	○		配線切断か電源ランプ確認

停止NO	エアーシリンダー異常	配線チェック	センサーチェック	ソルノイドバルブチェック
5	チャック下降	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
6	チャック下降LS		○	シリンダーセンサーランプ確認
7	チャック閉	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
8	チャック上昇	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
9	チャック上昇LS		○	シリンダーセンサーランプ確認
1 1	チャック開	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
1 2	チャック閉LS		○	シリンダーセンサーランプ確認
1 5	排出 出	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
1 6	排出 戻り	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
1 0	旋回行き	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
1 1	旋回LS		○	シリンダーセンサーランプ確認
1 5	結束機上昇	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
1 7	テープ突き上げ出	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
1 8	テープ押さえ出	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認

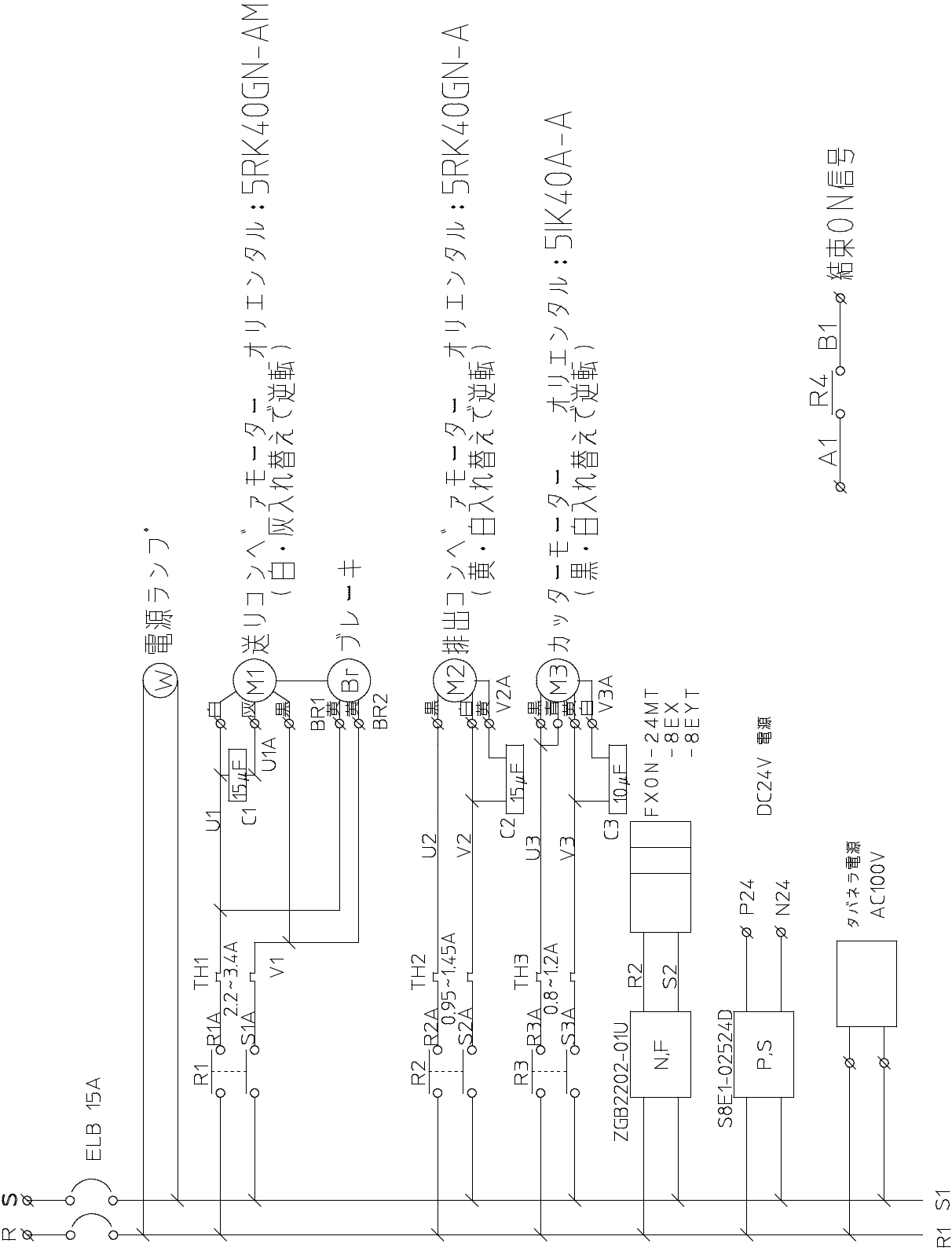
停止NO	エアーシリンダー異常	配線チェック	センサーチェック	ソルノイドバルブチェック
1 9	チャック開	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
2 0	チャック開 L S		○	シリンダーセンサーランプ確認
2 1	チャック上昇	○		バルブランプ確認、エアー圧力確認
2 2	チャック上昇 L S		○	シリンダーセンサーランプ確認
2 3	旋回戻り	○	○	バルブランプ OFF 確認、エアー圧力確認
	結束機下降	○		バルブランプ OFF 確認、エアー圧力確認
	突き上げ戻り	○		バルブランプ OFF 確認、エアー圧力確認
	テープ押さえ戻り	○		バルブランプ OFF 確認、エアー圧力確認

停止NO	センサー異常	配線チェック	センサーチェック
3	停止位置検知 K S	○	近接スイッチランプ確認
1 0	結束機上昇	○	光電スイッチ位置、ランプ確認
1 4	ニラ検知 L S	○	リミットスイッチ確認

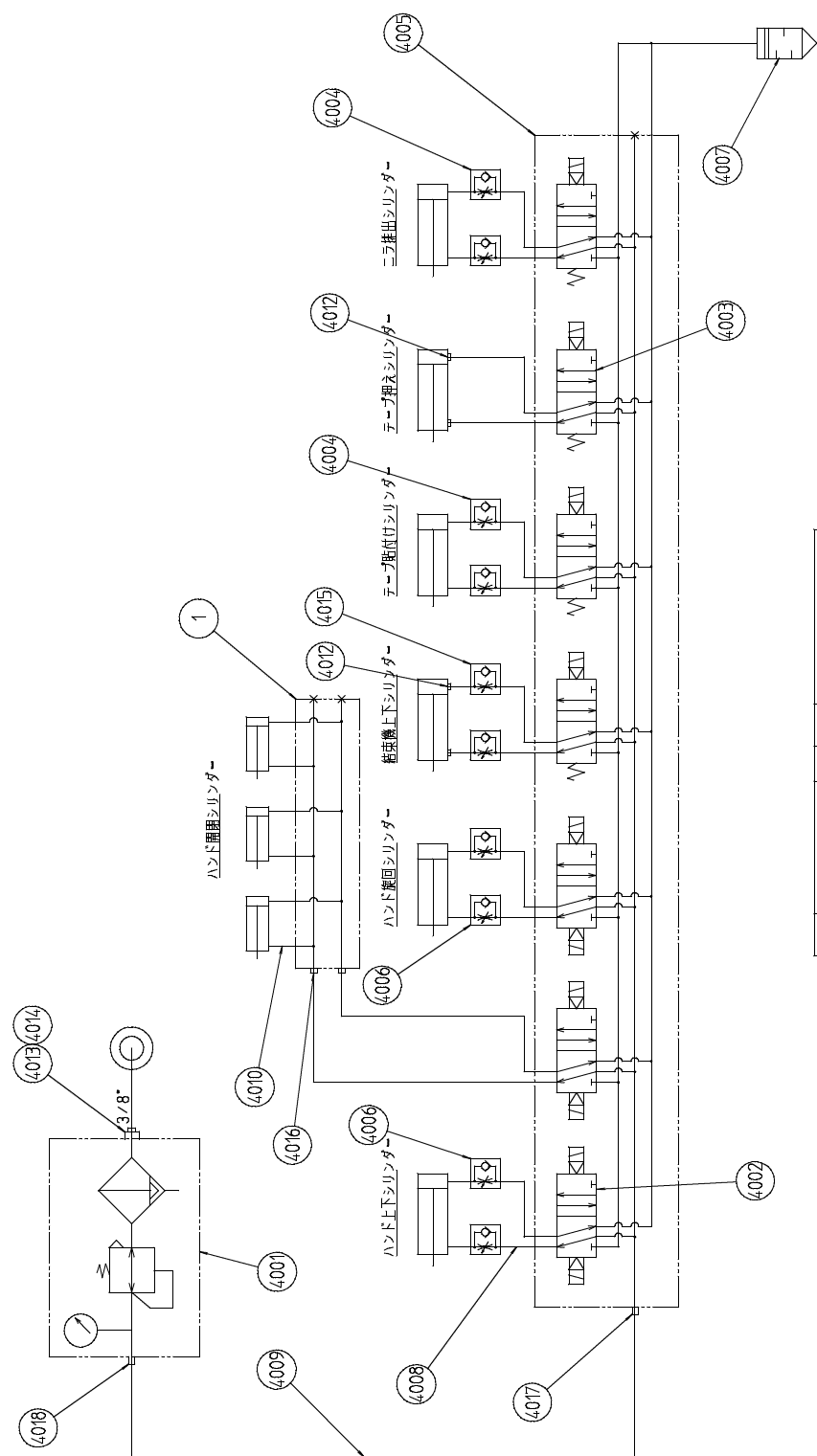
◎原点条件

- (1) バケット搬送チェーンコンベア停止検知近接スイッチ …ON
- (2) チャックハンド上昇端 …ON
- (3) チャックハンド開 …ON
- (4) チャックハンド旋回戻り端 …ON
- (5) テープ確認センサー …ON
- (6) テープ押さえが下降していないこと
- (7) 結束機（たばねら）が左端上昇していないこと（水平位置）
- (8) ペラが出ていないこと
- (9) バケット搬送チェーンコンベアが停止していること
- (10) 排出ベルト・ローラーコンベアが停止していること

1. 電 気 配 線 図



16. エア—配管図



品番	品名	数量	材質	形式、寸
1	マニホールド	1	A2017	
4001	フィルターレギュレーター	1	SMC	AW3001-03BG
4002	ソレノイドバルブ	3	SMC	SY5240-5MNZ
4003	ソレノイドバルブ	4	SMC	SY5140-5MNZ
4004	スピコン	4	SMC	AS120IF-M5-06
4005	マニホールド	1	SMC	SS5Y5-41-07-C6
4006	スピコン	4	SMC	AS220IF-01-06S
4007	サイレンサー	2	SMC	AN200-02
4008	クレタンチューブ	2	SMC	TU0604B-20
4009	クレタンチューブ	3m	SMC	TU0808B

4010	クレタンチューブ	3m	SMC	TU0403B
4011	ツギテ	12	SMC	KQL04-M5
4012	エルボ	4	SMC	KQ2L06-M5
4013	ニップル	1		1/4
4014	エルボ	1		1/4
4015	スピコン	2	SMC	AS200IF-06
4016	エルボ	2	SMC	KQ2L06-01S
4017	エルボ	1	SMC	KQ2L12-03S
4018	エルボ	1	SMC	KQ2L12-02S

17. 結束テープ貼付不具合時に確認して下さい

1. エアーは正常圧になっていますか？

エア圧力は圧力計を見て0.5 MPaに設定して下さい。
レギュレーターのリノブを上に引き、右回転が増圧、左回転が減圧となります。
調整完了後リノブを下に戻して下さい。→ 一度セッソすれば通常調整は不要です。

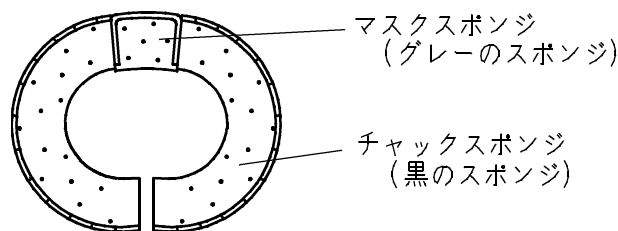
2. エアーフィルター及びコンプレッサーの水抜きはしていますか？

- (1) レギュレーター下部のフィルター部の水を除去して下さい。フィルター下部の橙色のリボタンのつまみを押すとエアーと共に溜まった水が出ます。
エアーコンプレッサーからの水ですので、毎日水抜きをお願いします。
- (2) エアーコンプレッサーの水抜きも毎日実施して下さい。

3. エアーコンプレッサー及びエアーホースは凍結していませんか？

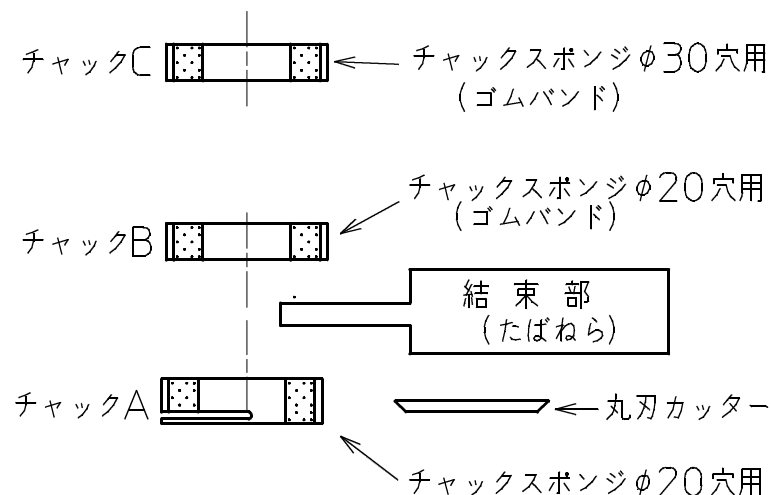
寒冷地においてはエアーコンプレッサーやエアーホースの凍結により本機が動かない時があります。解凍し正常になってから本機の作業をして下さい。

4. クランプチャックのチャックスポンジ及びマスキスポンジは正常ですか？



破れたり欠損していたりすると、うまく結束できません。

- (1) チャックA・Bはチャックスポンジ内径φ20 (穴の小さい方) です。
- (2) チャックCはチャックスポンジ内径φ30 (穴の大きい方) です。



スポンジ類は消耗品ですから付属のものを使用するか、又は消耗品として別にお買い求め下さい。(有償)
スポンジ類の貼付け方はP 25～P 27を参照して下さい。

- (3) クランプチャックがニラを挟んでいる時にニラを無理矢理除去するとスポンジははがれてしまいます。この場合は、原点スイッチを押してクランプチャックを原点位置に戻した後、クランプチャックが開いた状態でニラの除去を行って下さい。

5. ニラの結束太さに適した位置に結束部（たばねら）を合せてありますか？

- (1) 年間を通してニラの太さ（100g）は変化します。ニラの太さに合わせて調整ハンドルにて最適な位置で作業して下さい。

後部のハンドル操作にて適した位置に調整して下さい。
（取扱説明書P11も参照）

- ①・結束テープののり付部が短い場合、又は束が太いニラ
・巻き付けがきつい場合



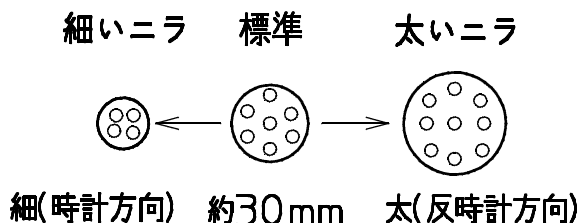
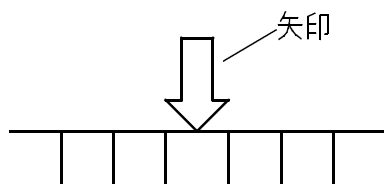
ハンドルを太方向（反時計方向）に回し、結束部（たばねら）を前進させる。

- ②・巻き付けがゆるい場合、又は束が細いニラ



ハンドルを細方向（時計方向）に回して、結束部（たばねら）を後退させる。

尚ハンドルを一回転回すと結束部（たばねら）が2mm前後します。
下図の矢印のライン内で調整して下さい。（結束部の脇の部分）

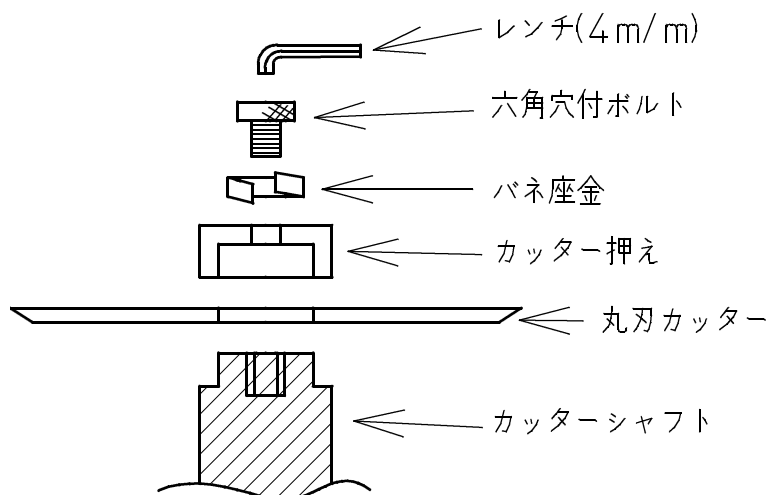


6. 結束テープの粘着力は正常ですか？

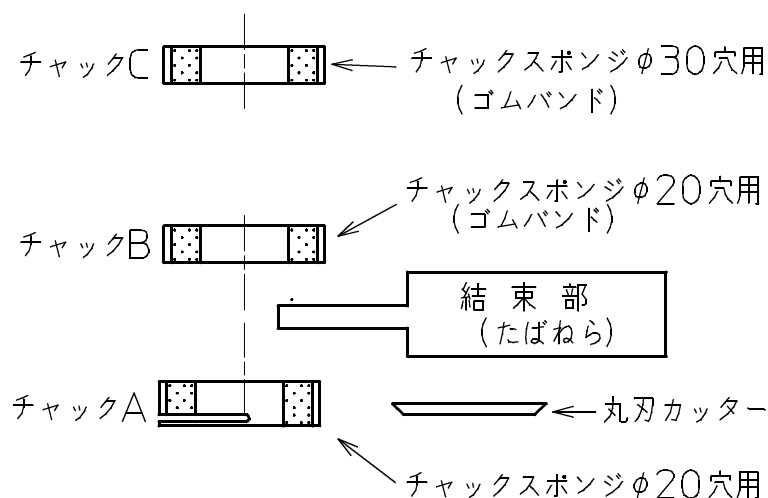
長時間結束テープを引き出して外気にさらしておくと、粘着力が低下します。
翌日作業始める前に必ず外気にふれた分は廃棄して作業して下さい。
また、結束テープメーカーによっては粘着力の弱いものもあるようです。
本機に使用する結束テープはニチバン製をおすすめします。

18. チャックスポンジ(ゴムバンド) 及びマスキングスポンジの貼付要領

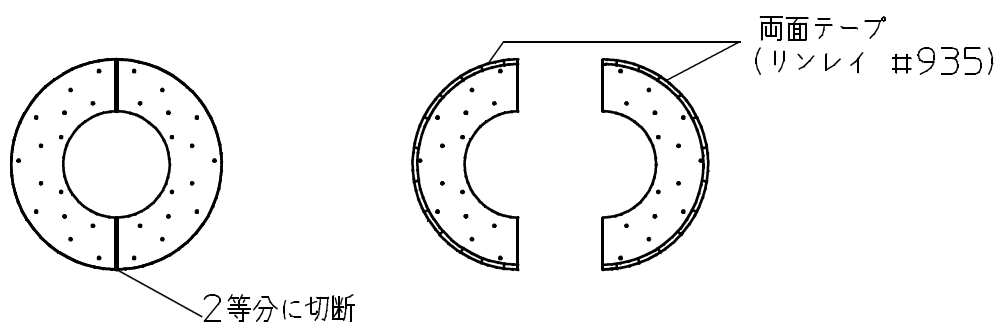
1. 電源はコンセントより引抜き、エアーはカプラから外さないで下さい。
2. 危険ですから丸刃カッターを外して作業して下さい。(下図)



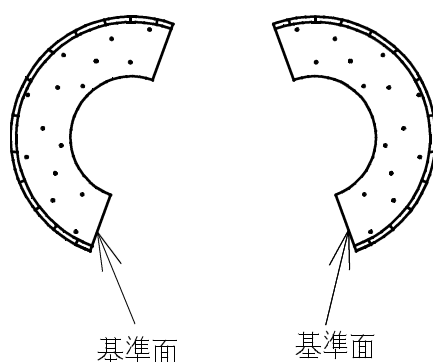
3. 不要になったチャックスポンジ (ゴムバンド) をきれいにはがして下さい。
新しいものを貼る前にシンナーなどできれいに拭き取って貼付面にゴミ等が付着していないようにして、油分や水分はきれいに拭き取って乾燥させて下さい。
4. (1) チャック A・B はチャックスポンジ内径 $\phi 20$ (穴の小さい方) を貼付けます。
(2) チャック C はチャックスポンジ内径 $\phi 30$ (穴の大きい方) を貼付けます。



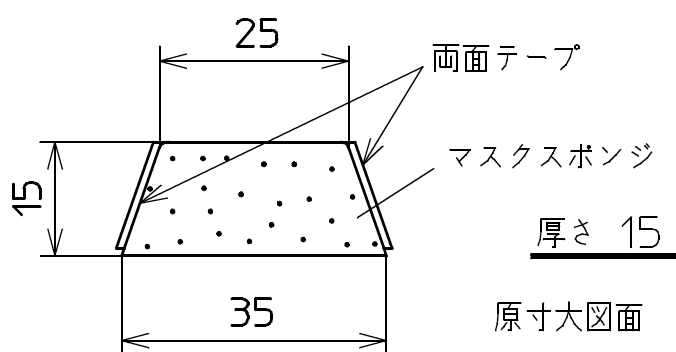
5. チャックスポンジ（ゴムバンド）をカッターなどで2等分に切断し、外側貼付面に指定の両面テープ（リンレイ #935）で貼付けて下さい。



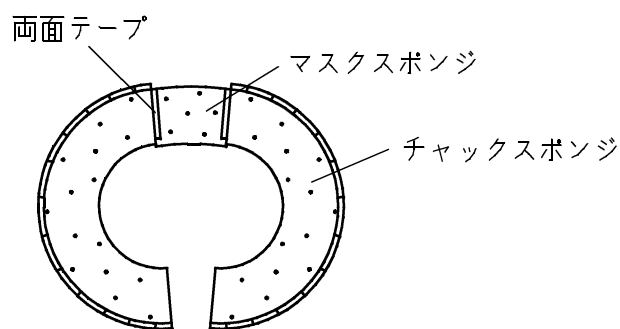
6. チャックへの貼付は下図のように、チャック最下端を基準面にして両側とも両面テープのノリ面でしっかりと貼付けて下さい。



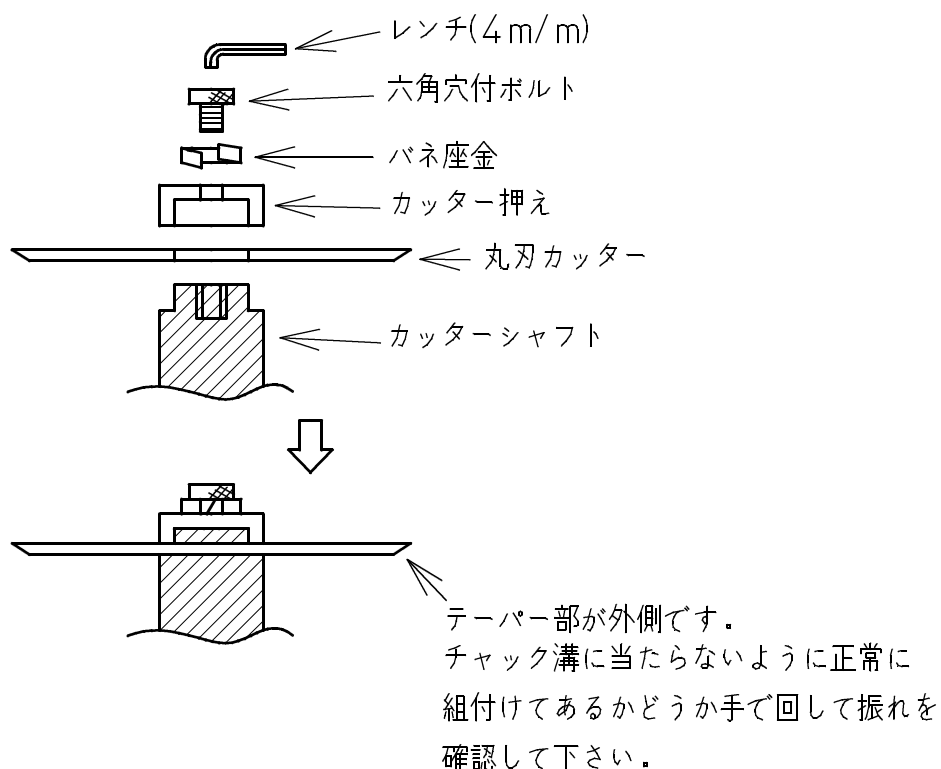
7. チャックスポンジ（ゴムバンド）を左右両側に貼付けてから、中央部に別のマスクスポンジを下図の原寸大図面に合せて、カッター等で切断し、両面テープを下図のように貼付けて下さい。



両面テープで貼付けたマスキングスポンジを下図のようにチャック中央に両面テープのノリ面を両側のチャックスポンジにしっかり貼付けて下さい。



8. 全てのチャックにスポンジを貼り終えたら、電源を入れて空運転をして確実に貼り付けてあるかどうか確認して下さい。確認が終わったら電源をコンセントより抜いて、取り外した丸刃カッターを元通りに組付けて下さい。この時、丸刃カッターのテーパ部が外側になるように組付けて下さい。
- また、丸刃カッターが正常に組付けてあるかどうか手で回して確認し、エアーを抜きチャックを手で動作させてチャック溝に当たらないかどうか最終確認して下さい。



9. 再び電源とエアーを入れて下さい。

19. 付属品一覧

1. 保証書			1 部
2. 取扱説明書	NT-650		1 部
3. 取扱説明書	たばねら 5000V		1 部
4. 砥石	鏡砥石コンビ #50		1 個
5. T型レンチ	3mm		1 個
6. 六角レンチ	2, 4, 5, 6mm		各 1 個
7. プラボックス	サンコー #23-3 (433×316×163)		1 個
8. チャックスポンジ (ゴムバンド) $\phi 20$	3038-03-20A	2 個	} セット品 (ビニール袋入)
9. " (ゴムバンド) $\phi 30$	3038-03-20B	1 個	
10. マスクスポンジ 15×30×0.5m	3038-03-61	1 本	
11. 両面テープ (特殊品) 30幅25m巻		1 個	
12. 取扱説明書 (チャックスポンジ及びマスクスポンジの貼付要領)		1 部	
13. ペラ突き上げバネ 3211-03-28			1 個

実り豊かな明日をひらく

株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地4-4-3

代 表／TEL028(664)1111 FAX 028(662)5592

URL <http://www.suzutec.co.jp>